



青い森鉄道利活用アクション事業
『のへじ停車場物語り 改：新たな情景を未来へ』

業務完了報告書

平成22年3月



野辺地町観光協会

目次

1はじめにP1

2事業目的P1

3事業の企画と実施報告P2～P9

(1)駅を起点とした観光史跡巡りプラン

(2)町民意識向上プラン

(3)音のある駅周辺活性化プラン

4青い森鉄道利活用アクション事業「のへじ停車場物語り 改:新たな情景を未来へ」新聞記事見出し一覧
.....P10

5終わりに.....P10

6付属資料(アンケート集計結果)

1はじめに

当協会は、昭和30年8月29日に、野辺地町を中心とする観光地、並びに観光適地の開発宣伝、諸施設の整備拡充を推進すると共に、郷土の文化向上を図り、その美化と発展に貢献することを目的として設立いたしました。

本会は、その目的を達成する為に次の事業を行なっております。

1. 観光に関する啓発と宣伝
2. 観光資源の保存並びに施設の改善
3. 観光客誘致に関する諸行事の企画並びに実施
4. 各種団体主催行事の協力幹旋
5. 観光客接遇に関する講習会並びに宿泊幹旋
6. 観光土産品の選定並びにその販売促進と改善育成
7. 郷土文化の宣伝並びに改善
8. 先進観光地の調査見学及び研究
9. 会員相互間の連絡と親睦
10. その他本協会の目的を達成する為に必要な事項

また会員構成は、野辺地町に居住し、又は野辺地町に事業所を有し、本会の趣旨に賛同する個人、法人、団体及び官公署等を以て現在182名の組織となっております。

2事業目的

明治24年今から118年前より東北本線の主要駅として幾多のドラマを生みまた、駅周辺地域を、停車場(てしゃば)と呼称し宿泊施設や飲食店も古くから形成され活気に満ち溢れていた時代がありました。新幹線等による高速形態の無い時代は遠方の人々は前日より停車場に宿をとり翌朝汽車に乗り旅路に向かうという心にゆとりもあったようです。その情景を青い森鉄道と変革しても野辺地は何時までも残して活きたいものと考え、このたび3つの大きなテーマに分けた行動計画を企画し総括的に駅を中心とした活性化に繋げたく実施いたしました。

3事業の企画と実施報告

(1) 駅を起点とした観光史跡巡りプラン

・「一里塚・藩境塚探訪 消えゆく奥州街道を遡る」と称し8月8日(土)に実施したこの事業は、野辺地駅を起点として「観る・食べる・ふれる」を体験して頂きながらアンケート形式による評価を集約し今後の基盤作りとすることを目的とした。また、8/8にお披露目した弁当「野辺地湊の旦那衆弁当」は、10月11(日)に開催した「青い森鉄道青森開業イベント」にも30食限定、500円販売を行い1時間程度で完売し非常に好評であった。この日も8/8同様にアンケートを実施し、ご意見の精度を高める事ができた。

【所見】天候にも恵まれたこの日の参加者は、40名の定員中、町外19名(県南13名・津軽6名)町内20名の39名となり、実施計画段階では、町外参加者を中心に考えていたが、諸事情により締め切り間近で町内参加者も加えての実施となった。アンケート集計結果については【付属資料】の通りとなり来年度以降の参考とさせて頂くのは勿論であるが、しかしながら今後の活動資金源は参加者から徴収する形となる為、参加者が全額負担となると安価なプラン立てになることが想定されるので、この点をどの様に満足・納得のいく形で「おもてなし」するか!?が現在も課題である。また、「弁当」のアンケートの結果にもあるように弁当の評価については概ね「良」と判断できるが通年で注文から販売となると、まだ少し体制強化の必要がある。

<p>青い森鉄道活用アクション事業 「のへじ停車場物語り 改:新たな情景を未来へ」</p> <p>一里塚・藩境塚の探訪</p> <h2>消えゆく奥州街道を遡る</h2> <p>【主催】 青森県・野辺地町・野辺地町観光協会・野辺地町観光史跡ボランティア会 【協力】 野辺地町教育委員会・野辺地町漁業協同組合・野辺地町農業協同組合 【期日】 平成21年8月8日(土) ※雨天決行 【集合場所】 JR野辺地駅・歴史民俗資料館 【参加料】 お一人 1,000円(弁当・入浴代・傷害保険含む) ※現地でお支払いいただきます。 ※入浴の際のタオルは各自持参とする。 【参加資格】 小学生が参加する場合は、保護者同伴の場合のみ可。 【定員】 40名 ※定員になり次第切りとさせていただきます。 【受付時間】 午前9時30分 【出発時間】 午前9時40分</p> <p>【コース予定】</p> <p>テクテク散歩コース</p> <p>野辺地駅出発(9:40) ⇒ 歴史民俗資料館(9:50) ⇒ 長者久保まで(10:30) <small>バスで移動 バスで移動・解説 奥州街道について解説</small></p> <p>⇒ 長者久保入口(10:40) ⇒ 坊ノ塚一里塚 ⇒ バス待機場所まで徒歩移動(11:20) <small>約3kmを30分から40分かけ徒歩で探訪します。 バス移動</small></p> <p>⇒ 藩境塚(11:30) ⇒ 野辺地湊港(南さげき場)(11:40~12:50) ⇒ まかど温泉富士屋ホテル <small>藩境塚の解説・バス移動 昼食・湯桶からホタテの貝焼きを提供 温泉へ入浴(1時間)</small></p> <p>⇒ 歴史民俗資料館前で解散(14:00) ⇒ 野辺地駅 <small>バス移動</small></p> <p>※駐車場は確保しておりませんので、電車等のご利用をお願いします。 ※コース・時間はあくまでも予定です。</p> <p>まかど温泉から野辺地駅までのバス時刻 まかど温泉発 → 野辺地駅着 ①14:54~15:16、②15:34~、③17:05~17:27</p> <p>JR(上り)野辺地駅~八戸方面の時刻 野辺地駅発 ①14:12(特急)、②14:40(各駅)、③15:20(特急)、④16:40(特急)、⑤16:52(特急)</p> <p>JR(下り)野辺地駅~青森方面の時刻 野辺地駅発 ①14:46(特急)、②15:35(特急)、③15:38(各駅)、④16:15(各駅)、⑤16:46(特急)</p>	 
	

(2) 町民意識向上プラン

・旅客運送業者(主にタクシー運転手)を対象とした観光コース資料作りと研修会並びに町民を対象としたマイレール意識付け講演会を実施し活性化を目指す。

このプランについては、12月3日(木)に『地方鉄道と地域の活性化 野辺地に求められるものは何か?』と題し講師に「岸谷 克己 氏」並びにアドバイザー「三上 亨 氏」をお招きし、町民を対象としたマイレール意識付け講演会を開催した。この日、町民以外にも横浜町・JR 関係者・青い森鉄道関係者の方々もご参加頂き88名の参加であった。また、並行して進めた旅客運送業者(主にタクシー運転手)向けに製作した「観光・史跡マップ」は3月3日に完成し、そのマップをもとに【「観光・史跡マップ」をもとに学ぶ野辺地の歴史について】と題しての研修会を3月24(水)と26日(金)の二日間に分けて開催した。

【所見】

12月3日(木)講演会について:漠然と JR から青い森鉄道線と変わることは、町民一同、意識はあるが、実質的に今年12月開業となり、どの様に、この野辺地が変わって行くのか?という点についての意識は希薄であったと思われる。この度、民間レベルでの講演会、1時間半程度ではあったが、今後の官民一体とならなければ乗り切れないという思いは全ての参加者に感じ伝わったと思う。また講演会后、駅前商店会では、今後の駅舎や周辺の改善点等、意見が出され一層活発さが増している。

3月24日(水)と26日(金)の、研修会はマップの完成度については評価があったが研修会の内容については、マップをもとにした研修内容とは違いがあり、参加者から多少の不満もあったようだ。

この取り組みを終えて受け入れ体制の充実は図ることができたが、今後、最大の目標である、「いかにこの地域に観光客を取り込むか?」が町挙げての課題であり継続して我々に課せられた務めと考える。

青い森鉄道開業(八戸-青森間)・新幹線青森乗り入れまで『あと1年!!』

講演会開催

テーマ：地方鉄道と地域の活性化
『野辺地に求められるものは何か?』

【日時】平成21年12月3日(木) 午後6時より
【場所】野辺地中央公民館 1階ホール
【入場料】無料

講師

国土交通省 東北運輸局 鉄道部長

岸谷 克己 氏

プロフィール
昭和63年 広島大学 工学部 第四類(建設系) 卒業
平成元年 運輸省入省
平成11年 茨城県企画部 事業推進課 企画対策室長
平成18年 国土交通省 鉄道局 技術企画課 課長補佐
などを歴任、現在に至る。

アドバイザー

NPO法人NPO推進青森会議 常務理事

三上 亨 氏

プロフィール
青森県民らの依頼を受け数年に渡り、青い森鉄道線青森開業に向け地産活動に対し、アドバイスを行っている。



野辺地駅は、明治24年から東北本線の主要駅として活躍し、町にあらゆる利益をもたらしてまいりました。東北本線が青い森鉄道線に変わるまで、あと1年というカウントダウンが始まる中、町民が一体となり「マレール意識」の下、今後どの様に取り組んで行けば良いか皆様と一緒に考えたにたが講演会を開催することになりました。多数のご参加をお待ちいたしております。

関係者一同

主催：野辺地町観光協会 後援：野辺地町
本事業は青森県による『青い森鉄道利活用アクション事業』として開催します。

【お問い合わせ】
野辺地町観光協会 TEL 0175-64-9555

主催者挨拶



岸谷氏講演中



質疑応答(三上氏応対)



質疑応答(町民より質問)





青い森鉄道利活用アクション事業

「観光・史跡ガイドマップ」をもとに学ぶ野辺地の歴史について



【日 時】 ①平成22年3月24日(水)
 ②平成22年3月26日(金)
 午後1時30分から午後3時まで
 ※①、②は同じ研修内容となります。ご都合の宜しい日をお選び願います。

参加申し込みの場合は、裏面の用紙にご記入の上FAXにてお知らせ願います。

【場 所】 野辺地町図書館2階視聴覚室

【研修内容】

紀元前から明治以降の野辺地までを学ぶ

講師 野辺地町文化財保護審議会
 会長 宮澤 秀男 氏

主催：野辺地町観光協会 後援：野辺地町

野辺地駅は、明治24年から東北本線の主要駅として活躍し町にあらゆる有益をもたらしてまいりました。東北本線が青い森鉄道線に変わるまで、あと1年を切った今、改めて我が町の観光・史跡の魅力を割出し観光客受け入れ態勢の強化を図るべく、この度関係機関を対象とした「研修会」を開催いたしました。

多数のご参加をお待ちしております。

本事業は青森県による「青い森鉄道利活用アクション事業」として開催いたします。

【お問い合わせ先】
 野辺地町観光協会 TEL0175-64-9555 FAX0175-64-9501

主催者挨拶



2010/3/24 13:37

講師(宮澤氏)



2010/3/24 13:51

主催側挨拶(武田室長)



2010/3/24 13:38

研修会風景



2010/3/24 13:40

研修会参加者人数

3月24日(水) 26名

3月26日(金) 23名

二日間 合計 49名

(3) 音のある駅周辺活性化プラン

・野辺地駅隣接の野辺地町観光物産 PR センター敷地を定期的に活用しストリートライブやストリートダンス等のパフォーマンスを開催。併せてフリーマーケットや路上販売等も行い、音を通しての活性化を目指すことを目的とする。

【所見】『のへじ土曜停車場ひろば』と称し7月11日(土)からスタートしたこの事業は町全体のイベントやお盆、また冬期は実施に至らなかった事、また天候にも左右されストリートダンス・フリーマーケットが実施できなかった事は反省材料となったが、逆に今年の反省を踏まえ次年度は、充実した取り組みを目指すためにも「1ヶ月～2ヶ月程度」の枠組みで実施する運びで既に意見交換が行われている。また、地元商店会や関係組織との共催として、長期的な取り組みとしたい。

開催実績と関連行事

内 容	月 日	内 容	月 日
土曜停車場ひろば	7月11日(土)	文化財チャリティーライブ	9月21日(月)
土曜停車場ひろば	7月18日(土)	鉄道フェスタ	10月11日(日)
土曜停車場ひろば	7月25日(土)	土曜停車場ひろば	10月31日(土)
土曜停車場ひろば	8月1日(土)	カウントダウンライブ	12/31日(木)～1/1日(金)
土曜停車場ひろば	8月29日(土)	のへじ停車場ランタンまつり	2月13日(土)
土曜停車場ひろば	9月5日(土)	/	
のへじ停車場まつり	9月12日(土)		
土曜停車場ひろば	9月19日(土)		

七月十一日土曜停車場ひろば開幕



七月十一日土曜停車場ひろば開幕



大晦日カウントダウンライブ



大晦日カウントダウンライブ



のへじ停車場ランタンまつり



のへじ停車場ランタンまつり



4青い森鉄道利活用アクション事業「のへじ停車場物語り 改:新たな情景を未来へ」 新聞記事見出し一覧

日付	新聞社	見出し内容
2009. 07. 10(金)	東奥日報(朝刊)	野辺地駅前に往時の活気を
2009. 07. 09(木)	デーリー東北	毎週土曜日は駅前に集合!
2009. 07. 13(月)	東奥日報(朝刊)	音楽や出店駅前に活気「土曜停車ひろば」始まる
2009. 07. 13(月)	デーリー東北	奥州街道をさかのぼろう(募集記事)
2009. 07. 14(火)	デーリー東北	野辺地駅前にぎわい創出
2009. 07. 23(木)	東奥日報(夕刊)	一里塚・藩境塚消えゆく奥州街道を遡る(有料募集記事)
2009. 08. 12(水)	デーリー東北	江戸時代の旅人気分満喫
2009. 09. 13(日)	東奥日報(朝刊)	駅前に往時の活気「のへじ停車場まつり」
2009. 09. 13(日)	読売新聞(朝刊)	停車場まつり人力車が人気
2009. 09. 17(木)	デーリー東北	人力車でお嬢さま気分「のへじ停車場まつり」
2009. 12. 06(日)	東奥日報(朝刊)	並行在来線駅後の展望は? 地域活性化を考える
2009. 12. 08(火)	デーリー東北	マイレール意識醸成を
2010. 02. 16(火)	デーリー東北	雪燈籠300個 幻想的に「のへじ停車場ランタンまつり」
2010. 02. 17(水)	東奥日報(朝刊)	街を彩る柔らかな光「のへじ停車場ランタンまつり」
2010. 03. 25(木)	東奥日報(朝刊)	新観光マップ活用へ

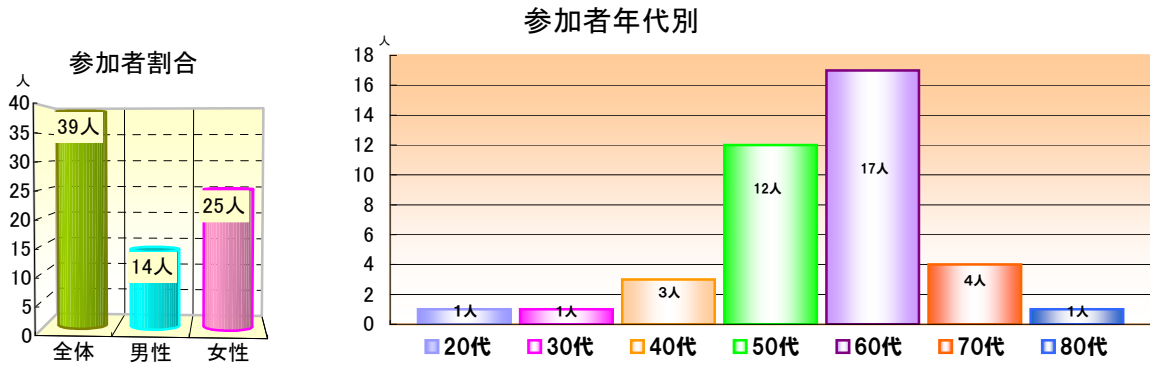
5おわりに

当観光協会は、町の実行部隊としての役割を担ってまいりましたが、青い森鉄道開業は、数々の課題とは比にならない程の重要度と認識していた矢先、青い森鉄道利活用アクション事業の支援を受け、7月から3月までの短い期間ではありましたが、文字通り「アクション」を起こし、次への課題も見つけ出す事もできました。また、何よりの成果は、関係者・町民の意識向上を図ることができより大きく行動していく輪を生むことができ、正に新たな情景を創造する基盤作りとなりました。

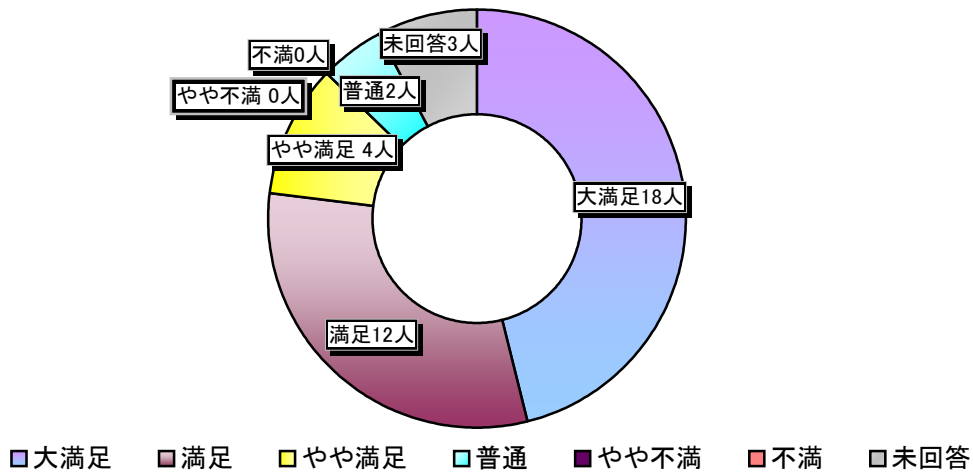
また、沿線地域の取り組みや同様の問題も知ることができ広域での共同作業の必要性も今後視野に置き取り組んで参りたいと思います。

【付属資料】

アンケート結果



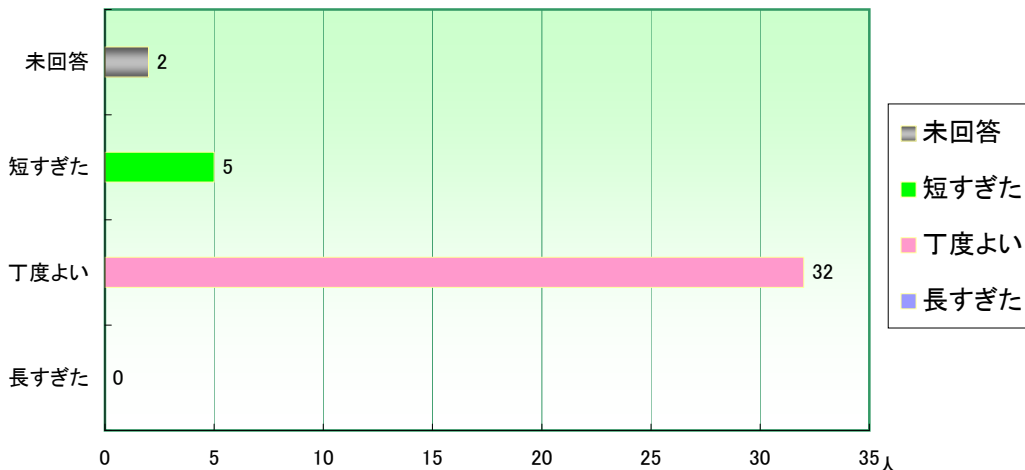
①今回二つの「塚」をテーマにツアーを組みましたが、満足頂けましたか？



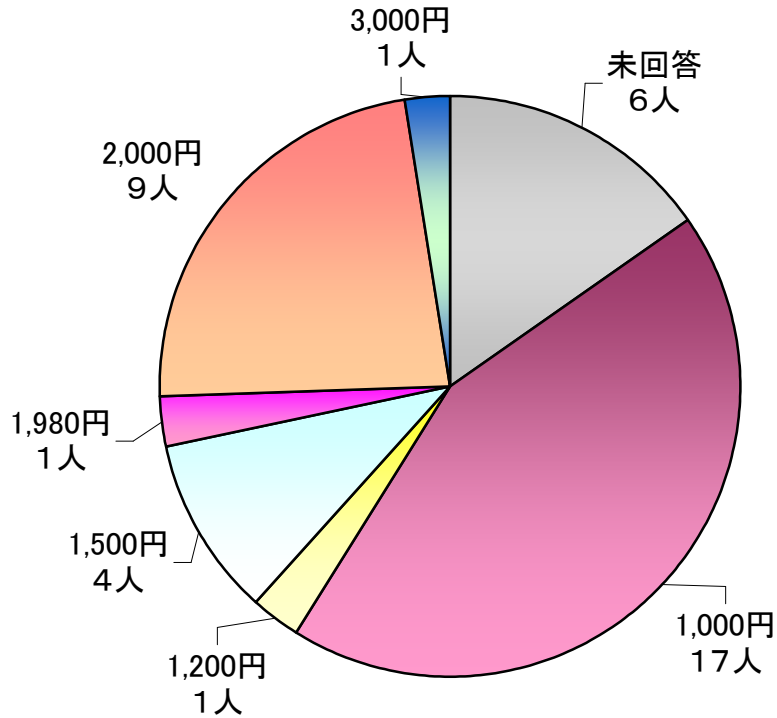
②今後どのようなツアーをお望みですか？

- ・歴史中心の内容が良い ・「銅の道」を知りたい ・奥州街道を1本つなげる企画
- ・野辺地町内の名所めぐり ・野辺地の神楽やお囃子を見たい。
- ・温泉めぐり ・郷土料理とコンサート ・もっと歩きたい ・一日道歩き ・巨木ツアー ・史跡めぐり
- ・子供向けの野辺地を知るツアー ・漁船を活用した体験ツアー
- ・未回答14人

③今回のツアー実施時間について(AM9:30～PM2:00)

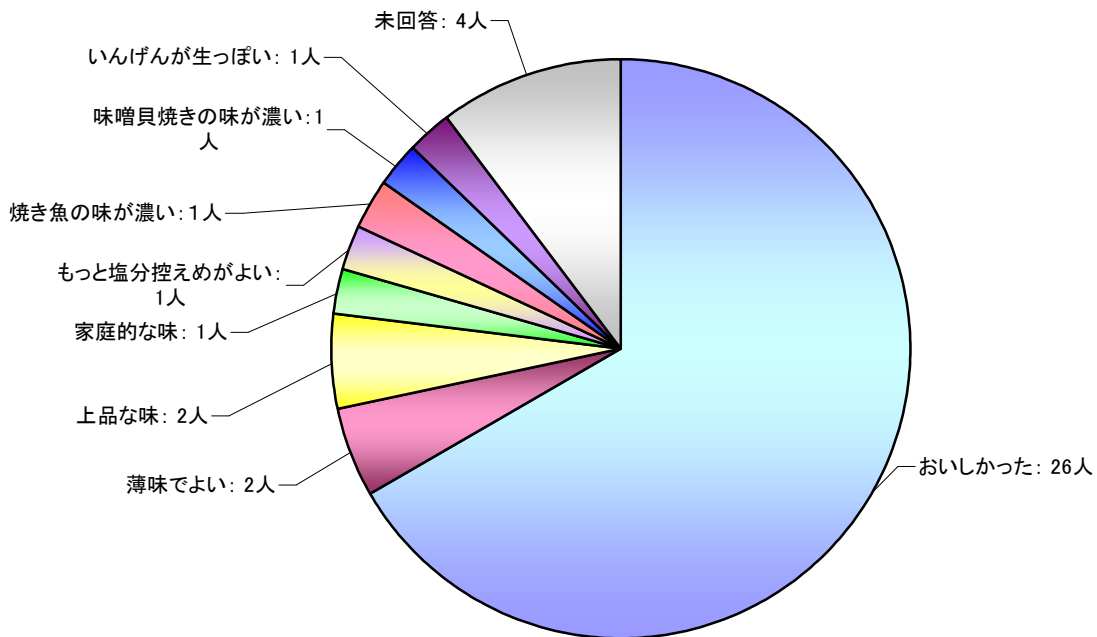
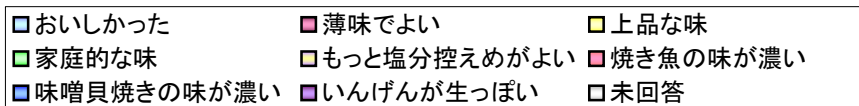


④参加料の設定について(※今回はモニターツアーなので1,000円とした。)

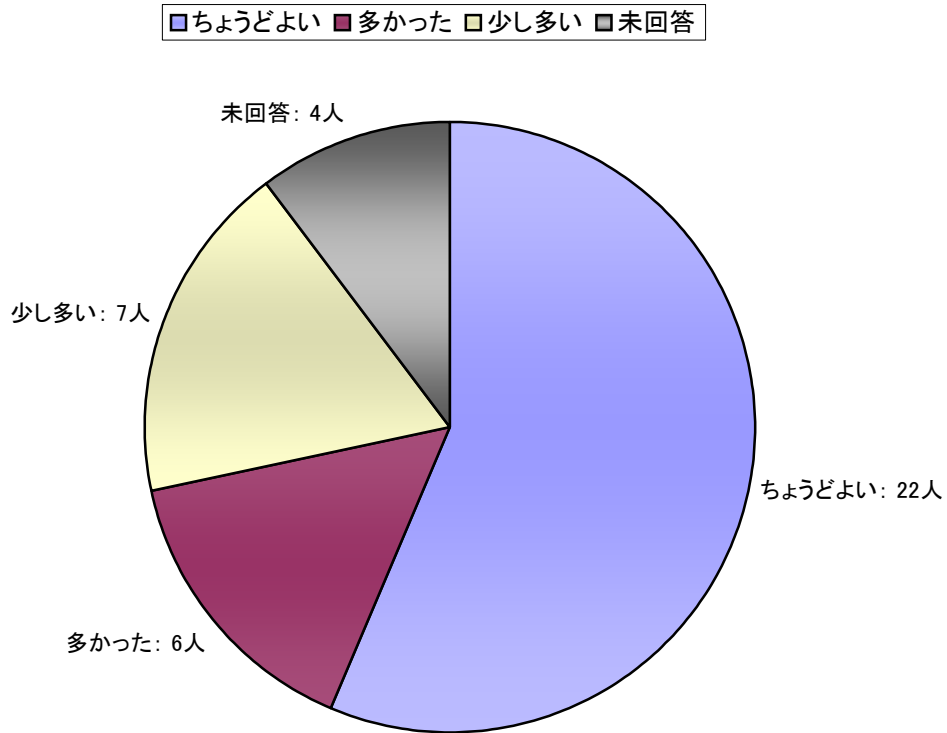


⑤昼食「旦那衆弁当」についてお伺いします。※感想を自由にお書きください。

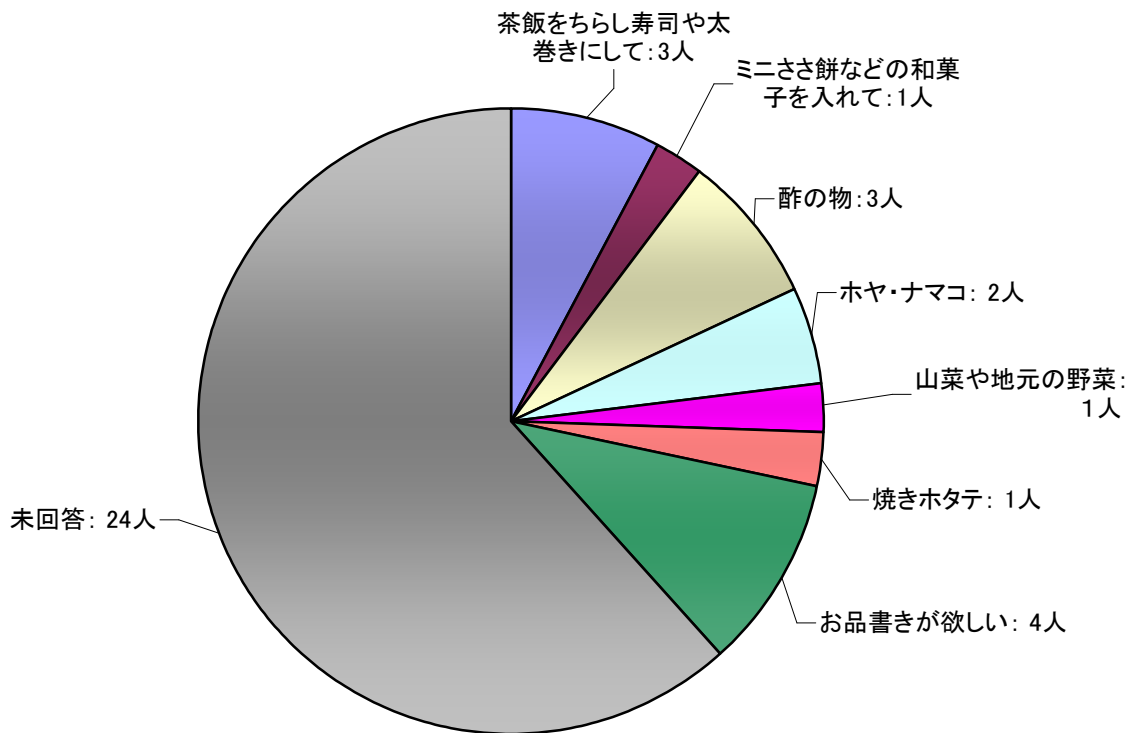
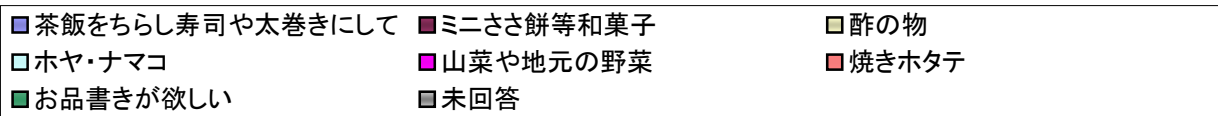
・味について



・量について

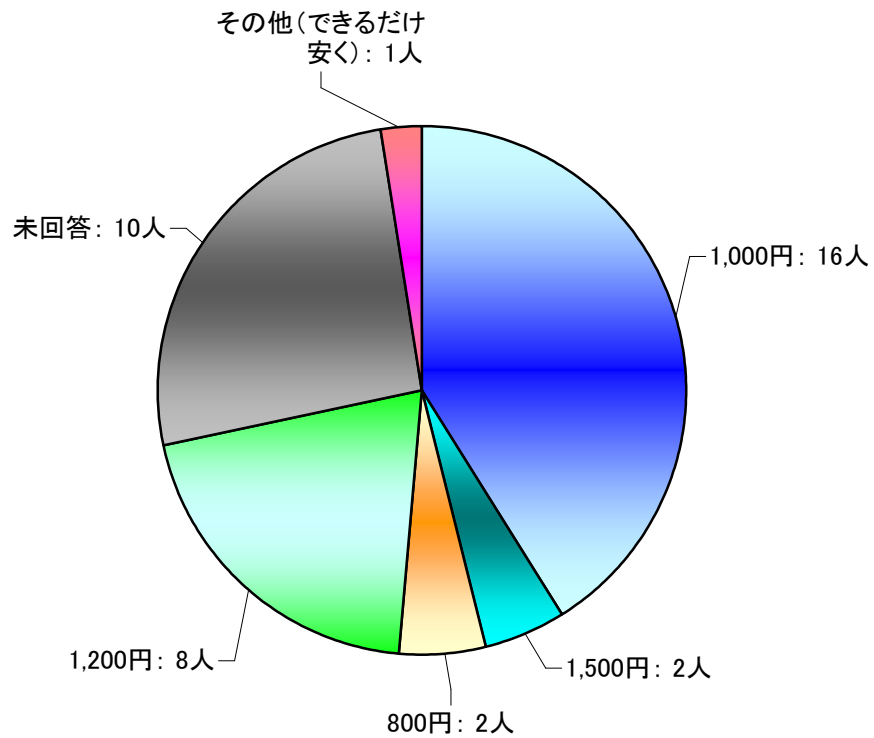


・他に入れて欲しい食材又はおかずについて



・今後の商品化とした場合の値段について

■ 1,000円 ■ 1,500円 ■ 800円 ■ 1,200円 ■ 未回答 ■ その他(できるだけ安く)



・その他のご意見

- ・通年やって欲しい。
- ・けつめい茶プリンは単品販売でも良い。
- ・昼食は各自持参で、史跡めぐりに徹した方が良い。
- ・港での食事が良かった。
- ・下北・六ヶ所の玄関口である野辺地をもっと知って貰うようにこれからも頑張ってもらいたい。

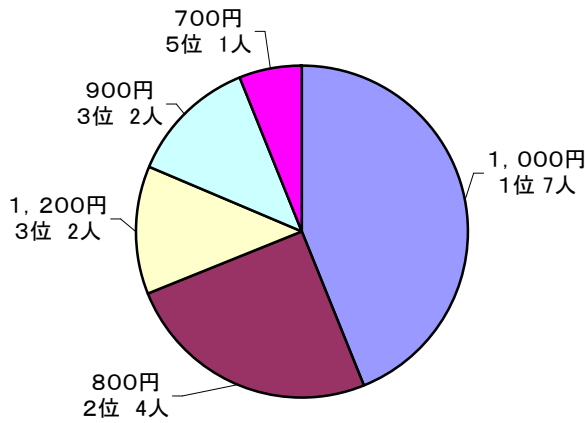
青い森鉄道青森開業イベント 野辺地湊の旦那衆弁当アンケート纏め

・弁当の希望価格 ベスト5位

2009.10.11

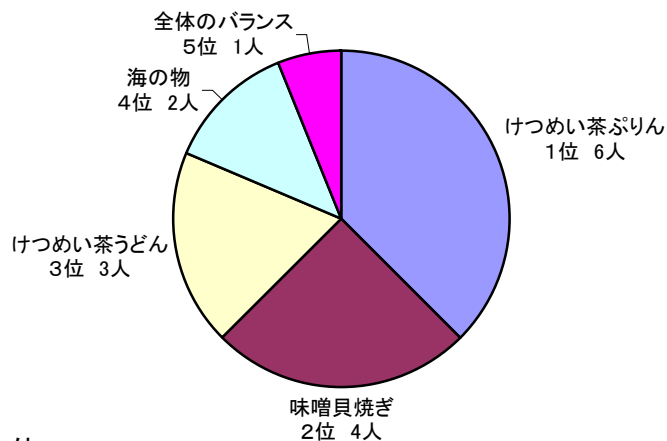
■ 1位 7人 1,000円	■ 2位 4人 800円	■ 3位 2人 1,200円
□ 3位 2人 900円	■ 5位 1人 700円	

アンケート回収
16件



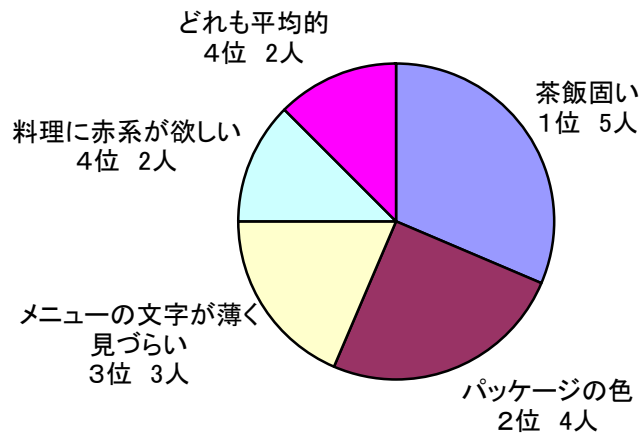
・好評だったメニュー ベスト5位

■ 1位 6人 かつめい茶ぶりん	■ 2位 4人 味噌貝焼き
□ 3位 3人 かつめい茶うどん	□ 4位 2人 海の物
■ 5位 1人 全体のバランス	



・不評だったメニュー ベスト5位

■ 1位 5人 茶飯固い	■ 2位 4人 パッケージの色
□ 3位 3人 メニューの文字が薄く見づらい	□ 4位 2人 料理に赤系が欲しい
■ 4位 2人 どれも平均的	



・その他のご意見として

- 2段弁当実用性の問題
- 価格設定を下げる。(品数を減らしても十分満足できる。)
- 食材の映える容器の見直し
- おかずの仕切り方や盛付ける容器の工夫
- お品書きは親切

